



# 亀中だより

No.8

令和7年5月16日 文責 岡田



For The Students!

## 大阪万博へ



5月21日から修学旅行へ行ってきます。今年の3年生はその目的地の一つとして大阪万博があります。私は55年前の万博を祖父に手を引かれながら、見学した思い出がうっすらとありますが、さて、みなさん、この万博って、いったい何なのでしょう。

公式サイトによると「世界中からたくさんの人やモノが集まるイベントで、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる場」と紹介されています。また、国際博覧会条約によれば、「博覧会とは、名称のいかんを問わず、公衆の教育を主たる目的とする催しであって、文明の必要とするものに応ずるために人類が利用することのできる手段又は人類の活動の一若しくは二以上の部門において達成された進歩若しくはそれらの部門における将来の展望を示すものをいう」とされています。(かなり難しい説明ですが…) 世界中から人々やアイデアが集まり、最新の科学技術の紹介など、文明や産業の進歩した姿を展示し、世界規模の課題に取り組むための場だといえます。国連が掲げる「SDGs (持続可能な開発目標)」も達成の目標年である2030年まで残り5年となりました。SDGs が達成された社会となるには、世界のすべての人が同じ意識を持つとともに、様々な地球規模の課題を解決する最新のテクノロジーも不可欠です。

今回の修学旅行の目的の一つが、この万博を通して、3年生のみなさんがグローバルな視点から物事を考えられるようになることにあります。そして、これからを生きる中学生のみなさんが、地球的な視点に立って、国際的なそして地球規模の課題に向き合っていける、そんな人になってほしいと思います。

## いのち輝く 未来社会の デザイン

2025年の大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。このテーマは、人間一人一人が、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、国際社会が共創していくことを推し進めるものだそうです。

この万博には、亀山中学校が大切にしてきたことを学ぶ機会にあふれています。その一つが「いのち」です。亀山中学校は「いのちの日」をはじめとして、命を大切にしたい生き方をその学校経営方針の中にうたい続けてきました。そしてこのことは、中学校の卒業で終わることではありません。生徒の人生を通じて、大切にしたいこととしてほしいことです。

二つ目は、「多文化共生」です。世界の国々から、多様な文化を持った生徒が、この学校に通ってくれています。国や文化の違いを認め合い、受け入れ合いながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと、この学校の生徒の多くは、こうした感覚に長けています。国や文化の違いにとらわれず、一人ひとりの違いを認め合って、協力しながらより豊かな地域社会を作っていく担い手として、みなさんの将来への期待は大きいものです。今回の万博見学は、わずかな時間かもしれませんが、これまでの学びを確認する機会、これからの自分をより確かな姿へと高めていく機会としてほしいものです。



4月5日  
レストランより  
本校職員撮影